## 世界各地の相撲&レスリング

相撲の名称

国·地域、民族

\*主要参考文献 石川栄吉、梅棹忠夫、大林太良ほか編、1994、「文化人類学事典」、弘文堂。 福垣正浩、野々宮徳、寒川恒夫ほか、1996、「図財スポーツの歴史」、大修館書店。 大林太良、洋野雄三、寨川恒夫ほか編、1998、『民族遊戯大事典』、大修館書店。 寒川恒夫編著、1995、『相撲の人類学』、大修館書店。 日本スポーツ人類学会、1999-2002、『スポーツ人類学研究』、創刊号~第4号。

| アゼルバイシャン                  |  | ギュレシュ  | ラウンド制、寝技あり。   |
|---------------------------|--|--|---|
| アフガニスタン                   |  | コシティ   | ターバンをマワシとして巻き、持久戦で戦う。   |
| アルメニア                     |  | コホ   | 音楽伴奏付き。   |
| イラン                       |  | コシュティ  | ズールハネ(=「カの家」男子身体訓練場)のなかで行なう。イスラム教シーア派のアイデンティティ形成文化といえ   |
| インド                       |  | バラティヤ・クシュティ  | 多くの相撲部屋があり、徹底した禁欲生活を送っている。  |
|                           | 山岳地帯のナガランドに  | キュケペ(キュカ・アンプー、リュピング)、  | 結婚式にて花嫁家側と花婿家側の対抗で行なわれ、いずれが長生きするか、または子どもは多いか少ないかが占わ   |
|                           | 住むナガ系諸族  | キボ、ケンネー  | 死者祭として行なう所もある。  |
|                           | マニプール州のメイテイ族   |  | 王の前で行なわれる相撲では、勝者は王に敬意を表するために、跳び上がり空中で右の尻を叩いて大きな音を出し   |
|                           | アッサム高原に住むカシ族   |  | 互いに指を取り合い、その状態で押し合い相手を倒す。そのまま持ち上げても勝ち。  |
| ウズベキスタン                   | 1198   | クラッシュ  |   |
| オマーン                      |  | ラッタジュ  |   |
| カザフスタン                    |  | カザクシアクレス   |   |
| 韓国·北朝鮮                    |  | シルム(左シルム、右シルム、帯シルム、パ・シルム)  | サッパ(布帯)の巻き方によって4種類に分けられる。韓国では左シルムが最も普及しており、プロ・シルムもこのスタ  |
| グルジア                      |  | チタオバ   | 袖の短い柔道衣のような上衣、短いパンツ、レスリングシューズを履いて行なう。   |
| シベリア地域                    | チュクチ族  |  | 神明裁判としても行なわれた。  |
|                           | ヤクート族  | - 1 // 1   | 春に牛の多産を祈念する祭で行なう。相撲は冬と夏の戦いを意味する。  |
| タイ                        |  | チョンガイ  |   |
| 台湾                        | アミ族  | オロツ  | 夏の栗の収穫祭で行なう。女性は公然と見ることを許されず、隠れて見物した。  |
|                           | サイシャット族  |  | もめごとが起きたとき、相撲などの勝者を正者とする神明裁判の制度があり、特に姦通の際には相撲で決められた。  |
|                           |  |  | 真に姦通した者には、神霊が味方せず、決して勝てないとされた。  |
|                           | パイワン族  |  | 栗収穫祭の行事。  |
|                           | プユマ族   | マリウリウス、マルブルブ、マルフルフ   | 栗の収穫祭で行なう。日本の相撲に極めて類似している。  |
| タジキスタン                    |  | カウ   |   |
| タタールスタン共和国                |  | クレス  |   |
| 中国                        |  | シュワイジャオ  | 袖の短い柔道衣のような上衣、短いパンツ、レスリングシューズを履いて行なう。体重別、ポイント制。   |
|                           | イ族   | L  | 夏の松明祭で行なう。互いの腰帯をしっかりと持ち、両肩を着けるように投げると勝ち。足をとることは禁止。  |
|                           | 朝鮮族  | パ・シルム  | サッパ(布帯)の巻き方、そして組み方が他のシルムとは大きく異なる。   |
|                           | トン族  | バンジャオ  | 旧暦2月15日、3月15日が相撲節。村を襲った虎を英雄が退治した故事による。帯の両端をつかみ、それを相手の腰にまわしてマワシの役目を  |
|                           | プイ族  |  | 闘牛の様子を真似て頭と頭を突き合わせ、「モーモー」と声を掛けながら行なう。   |
|                           | モンゴル族  | ブフ(ウジュムチン・ブフ)  | 上半身に皮製の半袖のチョッキを、下半身にはだぶだぶの白いズボンとにブーツを履く。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ば   |
|                           | ハニ族、ワ族、プニ族、トール   |  | 中国西南の少数民族では、はじめにがっぷりと組み合い、のちに相撲をとるルールが発達。ルールの細部は異なる。  |
|                           | チャン族、チベット族、ウイグ   | ル族、回族、満州族  |   |
|                           | 4年ごとに開催される「全国  | 少数民族伝統体育運動会   では、モンゴル  | レ族式、チベット族式、イ族式、ウイグル族式、回族・満州族式が採用されている。  |
| トルコ                       |  | ヤール・ギュレッシュ   | 革ズボン着用、裸身に油を塗る。寝技あり。毎年夏にクルクプナルで全国大会が開催される。  |
|                           |  | カラコジャック  | 革ズボン着用、裸身に油を塗る。寝技あり。音楽伴奏付き。   |
| 日本                        |  | 8世紀前半~12世紀末:「相撲節」[日暦7]   | 月7日に天皇が諸国から力士(相撲人)を召し出して行なう、一大年中行事であった。相撲の場は小宇宙を象徴。   |
|                           |  | 中世~:武士が戦場組み討ちの練習として  |   |
|                           |  |  | 撲興行に着手、大阪、京都、江戸において幕府公認のビジネスとして定着し、今日の大相撲に及んでいる。  |
|                           |  | 今日では民俗行事として各地に相撲神事、  | 芸能・儀礼相撲、祭礼相撲がみられる。  |
|                           |  | 柔術諸派、古武道   | Allo Millimoto N Dirigo v 21400   |
|                           | 沖縄   | シマ(沖縄角力)   | 柔道衣を着て、四つに組んだ姿勢から始まる。朝鮮の帯シルムに類似。夏に各地で盛んに大会が開かれる。  |
| パキスタン                     | /十/和   |  |   |
| ハイスタン                     | 100 h 1 h  | クシュティ  | インド相撲と同じであるが、精神性を伴なわない。   |
| -/1 1 /                   | パターン族  | 124 27 1   | 上半身裸でケンケン相撲を行なうが、技は強烈。  |
| ベトナム                      |  | ドウ・バット   | 年4場所開催される。  |
| ミャンマー                     | ラケール族  | アピアパ   | 日常的ではなく、結婚式や他村から若者が来たときに行なわれる。  |
|                           |  |  |   |
| モンゴル国                     | モンゴル族  | ブフ(ハルハ・ブフ)   |   |
| モンゴル国                     | モンゴル族  | ブフ (ハルハ・ブフ)  | 革命記念日に開催されるナーダムの大人気種目。長袖のチョッキのような上衣と短いパンパブーツを履く。入場の舞「鷹の<br>強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。   |
|                           |  |  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  |
| モンゴル国<br>インドネシア           | アンダマン島   | アドレンガ  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。<br>子ども達がしばしば砂浜で行なう。  |
|                           | アンダマン島<br>アンボン島、ウリアッサ島   | アドレンガ<br>パナエ・ムリン   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。<br>子ども達がしばしば砂浜で行なう。<br>子ども達だけが行なう。   |
|                           | アンダマン島<br>アンボン島、ウリアッサ島<br>サブ島  | アドレンガ<br>バナエ・ムリン<br>ベルラエ   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども違がしばしば砂浜で行なう。  子ども違だけが行なう。  胴体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  |
|                           | アンダマン島<br>アンボン島、ウリアッサ島<br>サブ島<br>シウー諸島   | アドレンガ<br>バチエ・ムリン<br>ヘルラエ<br>ムダリア   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども違がしばしば砂浜で行なう。  子ども違だけが行なう。  胴体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえるとカの限り振り回し、地に投げようとする。  男達だけの競技。互いに組み合ってからはじまる。   |
|                           | アンダマン島<br>アンボン島、ウリアッサ島<br>サブ島<br>シウー諸島<br>ジャワ島のアローン  | アドレンガ<br>バチェ・ムリン<br>ベルラエ<br>ムダリア<br>ブルカン(ジャグウィアン)  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。  子ども達だけが行なう。  脚体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  男達だけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。   |
|                           | アンダマン島<br>アンボン島、ウリアッサ島<br>サブ島<br>シウー諸島<br>ジャブ島のアローン<br>スマトラ島のアチェー族   | アドレンガ<br>バチエ・ムリン<br>ヘルラエ<br>ムダリア   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども違がしばしば砂浜で行なう。  子ども違だけが行なう。  胴体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえるとカの限り振り回し、地に投げようとする。  男達だけの競技。互いに組み合ってからはじまる。   |
|                           | アンダマン島<br>アンボン島、ウリアッサ島<br>サブ島<br>シウー諸島<br>ジャワ島のアローン<br>スマトラ島のアチェー族<br>スマトラ島のバタク族   | アドレンガ<br>バチェ・ムリン<br>ベルラエ<br>ムダリア<br>ブルカン(ジャグウィアン)  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども違がしばしば砂浜で行なう。 子ども違だけが行なう。  胴体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  男違だけの競技。互いに組み合ってからはじまる。  四節のの行事。  子ども違が好んで行なう。  節族祖先に牛を供儀する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。   |
|                           | アンダマン島<br>アンボン島、ウリアッサ島<br>サブ島<br>シウー諸島<br>ジャブ島のアローン<br>スマトラ島のアチェー族   | アドレンガ<br>バチェ・ムリン<br>ベルラエ<br>ムダリア<br>ブルカン(ジャグウィアン)  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。  子ども達だけが行なう。  脚体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  男達だけの競技。互しに組み合ってからはじまる。  四節句の行事。  子ども達が好んで行なう。  |
|                           | アンダマン島<br>アンボン島、ウリアッサ島<br>サブ島<br>シウー諸島<br>ジャワ島のアローン<br>スマトラ島のアチェー族<br>スマトラ島のバタク族   | アドレンガ<br>バチェ・ムリン<br>ベルラエ<br>ムダリア<br>ブルカン(ジャグウィアン)  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども違がしばしば砂浜で行なう。 子ども違がけが行なう。  胴体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  男違だけの競技。互いに組み合ってからはじまる。  四節句の行事。  子ども違が好んで行なう。  節族祖先に牛を供儀する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。   |
|                           | アンダマン島<br>アンボン島、ウリアッサ島<br>サブ島<br>シウー諸島<br>ジャブ島のアローン<br>スマトラ島のアテェー族<br>スマトラ島のバタク族<br>セラウェン島   | アドレンガ<br>バチェ・ムリン<br>ベルラエ<br>ムダリア<br>ブルカン(ジャグウィアン)  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども違がしばしば砂浜で行なう。 子ども違がけが行なう。  胴体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  男違だけの競技。互いに組み合ってからはじまる。  四節句の行事。  子ども違が好んで行なう。  節族祖先に牛を供儀する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。   |
|                           | アンダマン島<br>アンボン島、ウリアッサ島<br>サブ島<br>シウー諸島<br>ジャワ島のアローン<br>スマトラ島のバタク族<br>セラウェン島<br>ニアス島  | アドレンガ<br>バナエ・ムリン<br>ベルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。 子ども達だけが行なう。  脚体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。 男達とけの競技。互いに組み合ってからばじまる。 四路句の行事。 子とも達が好んで行なう。  部族祖先に牛を供植する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フキ族でスヤガボワング(マティケング)、マカッサル族でシタパサング  男達によって精霊の前で行なわれる。   |
|                           | アンダマン島<br>アンボン島、ウリアッサ島<br>サブ島<br>シウー諸島<br>シウー諸島<br>シヤフ島のアローン<br>スマトラ島のアチェー族<br>スマトラ島のバタク族<br>セラウェン島<br>ニコバル島   | アドレンガ<br>バナエ・ムリン<br>ベルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。 子ども達だけが行なう。  脚体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。 男達とけの競技。互いに組み合ってからばじまる。 四路句の行事。 子とも達が好んで行なう。  部族祖先に牛を供植する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フキ族でスヤガボワング(マティケング)、マカッサル族でシタパサング  男達によって精霊の前で行なわれる。   |
| インドネシア                    | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 ジャフ島のアローン スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のバタク族 セラウェン島 ニフバル島 ニコバル島 メルネオ島のバウ族 メンタウェ島   | アドレンガ<br>バチエ・ムリン<br>ベルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。  子ども達だけが行なう。  脚体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  男達たけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。  子とも達が好んで行なう。  部族権力に「牛を供着する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フギ族でスヤガヤワング(マティケング)、マカッサル族でシタバサング  男達によって精整の前で行なわれる。 書者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども達が行なう。   |
|                           | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 ジャフ島のアローン スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のバタク族 セラウェン島 ニフバル島 ニコバル島 メルネオ島のバウ族 メンタウェ島   | アドレンガ<br>バナエ・ムリン<br>ヘルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>バジョウ<br>バラバ  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。  子ども達だけが行なう。  脚体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  男達たけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。  子とも達が好んで行なう。  部族権力に「牛を供着する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フギ族でスヤガヤワング(マティケング)、マカッサル族でシタバサング  男達によって精整の前で行なわれる。 書者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども達が行なう。   |
| インドネシア                    | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シウー諸島 ジャフ島のアローン スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のバタク族 セラウェン島 ニアス島 ニアス島 ニコバル島 ボルネル島のババク族 ケンヤ族 アポリジニー   | アドレンガ<br>バナエ・ムリン<br>ベルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>バジョウ<br>バラバ<br>ドナマン (アルンガ)   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。 一子とも達だけが行なう。  脚体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  男達だけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。 子ども達が好んで行なう。  部族担先に牛を供積する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フキ族でスヤガポワング(マティケング)、マカッサル族でシタバサング  男達によって精霊の前で行なわれる。  老者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子とも達が行なう。 片方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち  |
| インドネシア                    | アンダマン島<br>アンボン島、ウリアッサ島<br>サブ島<br>シウー諸島<br>シウー諸島<br>ジャワ島のアチェー族<br>スマトラ島のバタク族<br>セラウェン島<br>ニコバル島<br>ボルネオ島のバウ族 ケンヤ族<br>メンタウェ島<br>アボリジニー<br>北東海岸部に住む部族   | アドレンガ<br>バナエ・ムリン<br>ベルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>バジョウ<br>バラバ<br>ドナマン (アルンガ)   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。 子ども達だけが行なう。  剛体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  関節ないま布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  関節句の行事。 子ども達が好んで行なう。  動験担係に十を供替する祭りで行なわれ、トムの意味をもつ。 フキ族でスヤガポワング(マティケング)、マカッサル族でシタパサング  男達によって精響の前で行なわれる。 若者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後るをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども達が行なう。 トカが攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人武・(割れ)しに行なう。   |
| インドネシア                    | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シウー諸島 ジャフ島のアローン スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のバタク族 セラウェン島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニコバル島 ボルネす皇のバウ族 メンタウェ島 アボリジニー 北東海岸部に住む部族 ニュー・サウス・ウェールズ州  | アドレンガ<br>パナエ・ムリン<br>ペルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パショウ<br>パラバ<br>ドナマン (アルンガ)   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。 子ども達だけが行なう。  剛体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  関節ないま布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  四節句の行事。 子ども進が好んで行なう。  翻放異祖化に十を供替する祭りで行なわれ、トムの意味をもつ。 フキ族でスヤガポワング(マティケング)、マカッサル族でシタパサング  男達によって精響の前で行なわれる。 若者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども進が行なう。 トカが攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割れ)しに行なう。   |
| インドネシア                    | アンダマン島 アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シャワ島のアローシ スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のバタク族 セラウェン島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ボルネオ島のパリウ族、ケンヤ族 メンタウェ島 ポルネオ島のパリウ族、ケンヤ族 メンタウェ島 北東海岸部に住む部族 ニューサウス・ウェールズ州 のユーフライに住む部族   | アドレンガ<br>バナエ・ムリン<br>ヘルラエ<br>ムダリア<br>グルカン(ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>バジョウ<br>バラバ<br>ドナマン(アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>C部族  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。 一子とも達だけが行なう。 一別をだけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  男達だけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。 子ども達が好んで行なう。  部族担先に牛を供植する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フキ族でスヤガポワング(マティケング)、マカッサル族でシタパサング  男達によって精霊の前で行なわれる。 名者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども違が行なう。 片方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割礼)に行なう。  物に込を進る、夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。  体に込を塗る、夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。   |
| インドネシア                    | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シウー諸島 シウー諸島 ジャフ島のアワーン スマトラ島のパタク族 セラウェン島 ニアス島 ニコバル島 ボルネオ島のパパク族、ケンヤ族 メンタウエ島 アポリジニー 北東海岸部に住む部族 ニュー・サウス・ウェールズ州 のユーフライに住む部族   | アドレンガ<br>バチェ・ムリン<br>ペルラエ<br>ムダリア<br>ブルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>バジョウ<br>バラバ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>む部族<br>ドパップ (ブルトン)   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。 子ども達だけが行なう。 脚体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。 関連なけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。 子ども進が好んで行なう。 部族祖先に牛を供着する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フキ族でスヤガボウング(マティケング)、マカッサル族でシタバサング  男達によって精霊の前で行なわれる。 老者が新年祭に相撲ととる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども達が行なう。 ド方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割礼)に行なう。  物に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。  勝奥の前に予め組み方や用いる技を決める。神明裁判でもあった。  |
| インドネシア                    | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シャフ島のアローン スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のバタク族 セラウェン島 ニコバル島 エルネオ島のバウ族 メンタウェ島 アボリジニ 北東海洋部に住む部族 ニュー・サウス・ウェールス州 のユーフライに住む部族 ビクトリア州のムーレイに住・ ルソン島のイフガオ族   | アドレンガ<br>パナエ・ムリン<br>ペルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パジョウ<br>パラバ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>G部族<br>ドバップ (ブルトン)<br>ハンキン   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達だけが行なう。  一学とも達だけが行なう。  一学とも達だけが行なう。  一学にも達だけが行なう。  一学にも達だけが行なう。  一学にも達だけが行なう。  一学にも達だけの競技。互いに組み合ってからはじまる。  四節句の行事。  子さも達が好んで行なう。  部族祖先に「牛を供着する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フギ族でスヤガヤワング(マティケング)、マカッサル族でシタバサング  男達によって精整の前で行なわれる。  書者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども達が行なう。  トガが攻撃、ドカが防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割礼)に行なう。  神風のむことに氏族が対抗して行なう。  体に油を塗る。夏に親庭関係の氏族が集まった時に行なっ。  株別の前に子の組み方や用いる技を決める。神明裁判でもあった。 ケンケン相撲、後で行なう足相撲もあった。  |
| インドネシア                    | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シウー諸島 ジャフ島のアローン スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のバタク族 セラウェン島 ニコバル島 ボルネは島のババク族、ケンヤ族 メンタウェ島 アボリジニー 北東海岸部に住む部族 ニューザウス・ウェールズ州 のユーフライに住む部族 とクトリア州のムーレイに住 ルソン島のイフガオ族 マリンドゥケ島のタガログ族  | アドレンガ<br>パケエ・ムリン<br>ペルウェ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パショウ<br>パラウ<br>パラウ<br>パライ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>ご部族<br>ドパップ (ブルトン)<br>ブルシ  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども遠がしばしば砂浜で行なう。 子ども遠がしばしば砂浜で行なう。 脚体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。 男遠だけの競技。互いに組み合ってからばしまる。 四節句の行事。 子ども違が好んで行なう。 翻旋視先に牛を供着する祭りで行なわれ、小占の意味をもつ。 フキ族でスヤガポワング(マティケング)、マカッサル族でシタバサング 男達によって精響の前で行なわれる。 若者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子とも進が行なう。 片方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割礼)に行なう。 物に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 体に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 体に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 体に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 神田規則を取ります。 など、おります。 など、など、など、など、など、など、など、など、など、など、など、など、など、な |
| オーストラリアフィリピン              | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シウー諸島 シャフ島のアウェー族 スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のバタク族 セラウェン島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス  | アドレンガ<br>バチェ・ムリン<br>ペルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャヴウィアン)<br>メウルホ<br>バジョウ<br>バラバ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>む部族<br>ドバップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ブン・ウン・ヴ  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。 子ども達だけが行なう。 脚体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。 関連なけの数核。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。 子ども達が好んで行なう。 翻旋組分に生を供着する祭りで行なわれ、トムの意味をもつ。 フギ族でスヤガポウング(マティケング)、マカッサル族でシタパサング 男達によって精霊の前で行なわれる。 若者が新年祭に相接をとる。腰帯だけをまし、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども達が行なう。 片方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割れ)に行なう。 制礼のときに氏族が対抗して行なう。 体に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 勝負の前に予め組み方や用いる技を決める。神明裁判でもあった。 センケン1相撲、寝て行なう足相撲もあった。 相よ今点と姿勢からはじめる。 村と村の勝争の際に問題処理として行なわれた。  |
| オーストラリアフィリピン              | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シウー諸島 シウー諸島 シウー諸島 シャフ島のアローン スマトラ島のパタク族 セラウェン島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニコバル島 ボルネオ皇のパツの族 ケンヤ族 メンタウェ島 アボリジニー 北東海洋部に住む部族 ニュー・サウス・ウェールズ州 のユーフライに住む部族 ビクトリア州のムーレイに住 エリンドクケ島のタガログ族 サモア  | アドレンガ<br>パナエ・ムリン<br>ヘルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パジョウ<br>パラバ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>は部族<br>ドパップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ブノ<br>ファンガセ (タウファナトゥガ、ファンがトゥアンガ)   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達だけが行なう。  子ども達だけが行なう。  脚体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  男達だけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四面面の行事。 子ども進が好んで行なう。  部族祖先に牛を供着する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フギ族でスヤガギワング(マティケング)、マカッサル族でシタバサング  男達によって精質の前で行なわれる。 走者が新年祭に相接をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども遠が行なう。  大方攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割礼)に行なう。  報刊のときに氏族が対抗して行なる。  様と油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。  勝負の前に予め組み方や用いる技を決める。神明裁判でもあった。 ケンケン相撲。寝て行なう足相撲もあった。 ケンケン相撲。寝て行なう足相撲もあった。 オと村の紛争の際に問題の理として行なわれた。  環タに油を塗る。及げがどこり強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう聴技の一つ。   |
| オーストラリアフィリピン              | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シウー諸島 シウー諸島 シャーラ島のアワーン。 スマトラ島のバタク族 セラウェン島 ニフバル島 ボルネオ島のババク族、ケンヤ族 メンタウエ島 ア ボリジニー 北東 海岸部に住む部族 ピクトリア州のムーレイに住い ルソン島のイフガオ族 マリンドゥケ島のタガログ族 ボントック族 サトア  | アドレンガ<br>パナエ・ムリン<br>ペルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パショウ<br>パラバ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>む部族<br>ドパップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ブリウン・ウノング<br>ファレガセ (タウファナトゥガ、ファンがトゥアンガ)<br>ファンガシァ  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。 一子とも達だけが行なう。 一別なたけを称で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。 男達だけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。 子ども達が好んで行なう。  翻旋程先に牛を挟横する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フギ族でスヤガボワング(マティケング)、マカッサル族でシタバサング 男達によって精質の前で行なわれる。 若者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども違が行なう。 片方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割礼)に行なう。 制礼のときに氏族が対抗して行なう。 「株に油を塗る、夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 「株に油を塗る、夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 「株の前に予め組み方や用いる技を決める。神明裁判でもあった。 ケンケン相撲、寝で行なう足相撲もあった。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  |
| オーストラリアフィリピン              | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シャブ島のアローン スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のバウタク族 セラウェン島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ボルネス島のババウ族・ケンヤ族 メンタウェ島 ポルネス島のババウ族・ケンヤ族 メンタウェ島 オルネス島のババウ族・ケンヤ族 メンタウェ島 フーナウス・ウェールズ州 のユーフライに住む部族 セントリア州のムーレイに住・ ルゾン島のイフガオ族 マリンドゥケ島のタガロゲ族 ボントック族 サモア ニューギニアのマオリ族  | アドレンガ<br>パチェ・ムリン<br>ペルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パジョウ<br>パラバ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>む部族<br>ドパップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ブィ<br>ウン・ウノング<br>ファレガシァ<br>ママウ   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども遠がしばしば砂浜で行なう。 子ども遠だけが行なう。 明体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。 明節句の行事。 子ども遠が好んで行なう。 四節句の行事。 子ども遠が好んで行なう。 四節句の行事。 子ども遠が好んで行なう。 初繁規氏に牛を供着する祭りで行なわれ、トムの意味をもつ。 フキ族でスヤガボウング(マティケング)、マカッサル族でシタバサング 男遠によって精霊の前で行なわれる。 若者が新年祭に相接をとる。腰赤だけを定い、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子とも遠が行なう。 片方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割礼)に行なう。 制礼のときに氏族が対抗して行なう。 体に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 様に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 様と治を含な多数からにはめる。 村と村の紛争の際に問題処理として行なわれた。 環条に油を塗る。投げがどても強いため、頻繁に事故が起きたという。舞式の時に行なう見損疾もあった。 セム行の服骨・投票等人が対するが、現象に多くなの場で行なう。なりは関系の一つ。 セム行の服骨・投票等人が対するが、現象にするが見ましても行なる。な相撲もあるが、基本的には男のアを者祭に行なう。とのは異なの一つ。   |
| オーストラリアフィリピン              | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シャフ島のアローン スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のパタク族 セラウェン島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニカバル島 ボルネオ島のパツの族 ケンヤ族 メンタウェ島 アボリジー エル東海岸部に住む部族 ニュー・サウス・ウェールズ州 のユーフライに住む部族 ビクトリア州のムーレイに住 ルソン島のイフガオ族 マリンドッケ島のタガログ族 サモア トンガ ニューギニアのマオリ族 ニュージーランド  | アドレンガ<br>パナエ・ムリン<br>ペルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パジョウ<br>パラバ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>CO部族<br>ドパップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ブリ<br>ウン・ウノング<br>ファンガンタ<br>ママウ<br>ワトト   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達だけが行なう。  丹とも達だけが行なう。  別体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  別達だけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。  子とも達が好んで行なう。  部族祖先に牛を供替する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。  フキ族でスヤガボワング(マティケング)、マカッサル族でシタバサング  男達によって精霊の前で行なわれる。  老者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子とも違が行なう。  およりが和に帯を発に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子とも違が行なう。  おりがれば野さんなる。成人式(割れ)に行なう。  神に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。  勝身の前に予め組み方や用いる技を決める。神明裁判でもあった。  付と対の影争の際に問題処理として行なわれた。  律身に油を塗る。設けがとても強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう競技の一つ。  セムイを吹きがはいめる。  オと村の紛争の際に問題処理として行なわれた。  律身に油を塗る。設けがとても強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう競技の一つ。  セムイを吹きが見る。などからはめる。  本名学に行なう。ふつうは男と男が対戦するが、1人の男に2人の女がかかる相撲もある。  女とときとき加わる。  |
| オーストラリアフィリピン              | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 ジャブ島のアローン スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のバタク族 セラウェン島 ニコバル島 ボルネオ島のバウ族・ケンヤ族 メンタウェ島 アボリジニー 北東海洋半部に住む部族 ニュー・サウス・ウェールス州 のユーフライに住む部族 ビクトリア州のムーレイに住・ルソン島のイブガオ族 マリンドゥケ島のタガログ族 サモア トンガ ニューギニアのマオリ族 ニューギニアのマオリ族 ニュー・デーアのマオリ族  | アドレンガ<br>パチェ・ムリン<br>ペルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パジョウ<br>パラバ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>む部族<br>ドパップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ブィ<br>ウン・ウノング<br>ファレガシァ<br>ママウ   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達だけが行なう。  再体にはを称で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  男達たけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。  子とも達が好んで行なう。  開族を行する。  一次をも達が好んで行なう。  開談を指に「牛を供着する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フギ族でスヤガボワング(マティケング)、マカッサル族でシタバサング  男達によって精質の前で行なれれる。  書者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども達が行なう。  片方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割礼)に行なう。  神に油を塗る。夏に親戚原係の氏族が集まった時に行なう。  様に油を塗る。夏に親戚原係の氏族が集まった時に行なう。  様に油を塗る。夏に親戚原係の氏族が集まった時に行なう。  様と行め湯争の際に問題処理として行なわれた。  環実に液を塗る。投げがどても強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう競技の一つ。 ヤムイモの収穫予祝祭、客人散迎式、死者祭 タブ・を解く儀式などに際して、また神明裁判として行なっ。女内は手と呼が対戦がするが、人の男に2人の女がかかる相撲もあるが、基本的には男のス 死者祭に行なう。ふつうは男と男が対戦するが、)人の男に2人の女がかかる相撲もある。 マカヒきとき加わる。 マカヒきとき加わる。   |
| オーストラリアフィリピン              | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シャブ島のアローン スマトラ島のアテェー族 スマトラ島のアテェー族 スマトラ島のパウタ族 セラウェシ島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ボルネオ島のパウ族・ケンヤ族 メンタウェ島 ポルネオ島のパウ族・ケンヤ族 メンタウェ島 オルネオ島のパウ族・ケンヤ族 メンタウェー 北東海岸部に住む部族 ニューサウス・ウェールス族 ビクトリア州のムーレイに住 ルソン島のイフガオ族 マリンドゥケ島のタガロブ族 オントック族 サモア トンガ ニューギニアのマオリ族 ニューギニアのマオリ族 ニューギニアのマオリ族 ニューギニアのマオリ族 ニューギニアのマオリ族 ニューギニアのマオリ族 ニューギニアのマオリ族 ニューギニアのマオリ族 ニューギニアのマオリ族  | アドレンガ<br>パケエ・ムリン<br>ペルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パジョウ<br>パラバ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>ひ部族<br>ドパップ (ブルトン)<br>バンキン<br>ブノ<br>ヴン・ウノング<br>ファレガセ (タウファナトゥガ、ファンが・クアンガ)<br>ファンガソファ<br>ママウ<br>ワトト<br>ハユーフ   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達だけが行なう。  丹とも達だけが行なう。  別体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  別達だけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。  子とも達が好んで行なう。  部族祖先に牛を供替する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。  フキ族でスヤガボワング(マティケング)、マカッサル族でシタバサング  男達によって精霊の前で行なわれる。  老者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子とも違が行なう。  およりが和に帯を発に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子とも違が行なう。  おりがれば野さんなる。成人式(割れ)に行なう。  神に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。  勝身の前に予め組み方や用いる技を決める。神明裁判でもあった。  付と対の影争の際に問題処理として行なわれた。  律身に油を塗る。設けがとても強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう競技の一つ。  セムイを吹きがはいめる。  オと村の紛争の際に問題処理として行なわれた。  律身に油を塗る。設けがとても強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう競技の一つ。  セムイを吹きが見る。などからはめる。  本名学に行なう。ふつうは男と男が対戦するが、1人の男に2人の女がかかる相撲もある。  女とときとき加わる。  |
| オーストラリアフィリピン              | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シャフ島のアローン スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のバクタク族 セラウェン島 ニアス島 ニコバル島 ボルネイ島のバハウ族・ケンヤ族 メンタウェ島 アボリジニー 北京海岸部に住む部族 ニュー・サウス・ウェールズ州 のユーフライに住む部族 ビクトリア州のムー・イに住 ルソン島のイフガオ族 サモア トンガ オントック族 トンア・オーアのマオリ族 ニュー・デーアのマオリ族 ニュー・デーアのマオリ族 ニュー・デーアですり 諸島   | アドレンガ<br>パチェ・ムリン<br>ペルラエ<br>ムダリア<br>ブルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パジョウ<br>パラバ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>む部族<br>ドハップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ファレガセ (タウファナトゥガ、ファンがトゥアンガ)<br>ファンガンファ<br>ママウ<br>ファトカ・ファンガンファ<br>ママウ<br>ファトト・ハコーフ<br>ファガトゥア (ファト)   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がけばれば砂浜で行なう。 一般に対すなう。 一般に対すなう。 一般に対する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  男達たけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。 一子とも達が好んで行なう。 一部談視氏に「牛を供着する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 一子装でスヤガボワング(マティケング)、マカッサル族でシタバサング  男達によって精整の前で行なわれる。 書者が新年祭に相撲をとる。腰帯にけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども達が行なう。 一方が攻撃、片方が防御と役割を分化とせている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割礼)に行なう。 神に油を塗る。変に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 様に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 様に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 組合った姿勢からはじめる。 村と村の紛争の際に問題処理として行なわれた。 「環保に油を塗る。投げがどても強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう競技の一つ。 ヤムイモの収穫予祝祭、客人歓迎式、死者祭 タブ・を解く儀式などに際して、また特明裁判として行なう。女内は事と男が対戦するが、1人の男に2人の女がかかる相撲もある。 本なときとき加わる。 マカヒキに衛年祭)の定番種目。戦闘訓練としても、組み相撲と組み手争いをする立ち合い相撲が行なわれた。  |
| オーストラリアフィリピン              | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シウー諸島 シャフ島のアローン スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のバタク族 セラウェン島 ニコバル島 ボルネオ皇のバウ族 メンタウェ島 アボリジニー 北東海洋部に住む部族 ニュー・サウス・ウェールン州 のユーフライに住む部族 ビクトリア州のムーレイに住・ルソン島のイフガオ族 マリンドゥケ島のタガロブ族 サモア トンガ ニューギニアのマオリ族 ニュー・サランド ハワイ エリス諸島 トウアモトゥ諸島 ニウィ島  | アドレンガ<br>パナエ・ムリン<br>ペルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パジョウ<br>パラバ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>G部族<br>ドバップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ブノ<br>ヴン・ウノング<br>ファレガ (タウファナトゥガ、ファンがトゥアンガ)<br>ファンガソァ<br>ママウ<br>ワトト<br>ハコーフ<br>ファガトゥア (ファト)<br>タウファガトゥア<br>タウファガトゥア   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達だけが行なう。  別体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  男達たけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四面節句の行事。 子とも進が好んで行なう。  部族祖先に牛を供着する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フギ族でスヤガギワング(マティケング)、マカッサル族でシタバサング  男達によって精整の前で行なわれる。 老者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども進が行なう。  片方が攻撃、片方が防御と役割を分化とせている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割礼)に行なう。 制礼のときに氏族が対抗して行なう。 様に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なっ。  勝負の前に予め組み方や用いる技を決める。神明裁判でもあった。 ケンケン相撲、寝て行なう足相撲もあった。 ケンケン相撲、寝て行なう足相撲もあった。 ケンケン相撲、寝て行なう足相撲もあった。 ケンケン相撲、寝て行なう足相撲もあった。 アンケン相撲、寝て行なう足相撲もあった。 「現外に油を塗る」投げがどても強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう競技の一つ。 セムイを収穫・投棄。支払資北、死者祭・タブ・を除儀式などに際してまた神明裁判としても行なう。女相撲もあるが、基本的には男のス死者祭に行なう。かつがは男と男が対戦するが、人の男に2人の女がかかる相撲もある。 マカヒキ(新年祭)の定番種目。戦闘訓練としても。組み相撲と組み手争いをする立ち合い相撲が行なわれた。 相手の胸を3度叩くことが相撲挑戦の合図。   |
| インドネシア                    | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シャブ島のアローン スマトラ島のアテェー族 スマトラ島のバタク族 セラウェン島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ボルネオ島のバック族・ケンヤ族 メンタウェ島 ポルネオ島のバック族・ケンヤ族 メンタウェ島 ポルネオ島のバック族・ケンヤ族 メンタウエー 北東海岸部に住む部族 ニュー・サウス・ウェールの大会 ビクトリア州のムーレイに住・ルソン島のイフガオ族 マリンドゥケ島のタガロブ族 ボントック族 サモア トンガ ニューギニアのマオリ族 ニュージーランド ハワイ エリス諸島 トウアモナッ諸島 ニウィ島 フツナ島   | アドレンガ<br>パチェ・ムリン<br>ペルラエ<br>ムダリア<br>ブルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パジョウ<br>パラバ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>む部族<br>ドハップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ファレガセ (タウファナトゥガ、ファンがトゥアンガ)<br>ファンガンファ<br>ママウ<br>ファトカ・ファンガンファ<br>ママウ<br>ファトト・ハコーフ<br>ファガトゥア (ファト)   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達だけが行なう。  再体にはをかに覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  男造たけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四面節の行事。 子とも達が好んで行なう。  開族を行する。  一次をも達が好んで行なう。  一次をも進かられて行なう。  の政節の行事。 一次をも進かられて行なり。  の政節の行事。 一次をも進かられて行なり。  のでするといれらいでは、アカッサル族でシタバサング  男達によって精質の前で行なわれる。 一書者が新年祭に相接をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども進が行なう。  片方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割礼)に行なう。  神人のときに氏族が対抗して行なう。  体に油を塗る。夏に親戚原保の氏族が集まった時に行なう。  様に油を塗る。夏に親戚原保の氏族が集まった時に行なっ。  組合った姿勢からはじめる。 村と村の紛争の際に問題処理として行なわれた。  理学に油を塗る。投げがどても強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう競技の一つ。 ヤムイモの収穫予祝祭、客人散迎式、死者祭 タブ・を解く儀式などに際して、また神明蔵型として行なった場内の元を発展で行なう。ふつうに男と男が対戦するが、1人の男に2人の女がかかる相撲もある。 マカときとき加わる。 マカときとき加わる。 マカときとき加わる。  |
| オーストラリアフィリピン              | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シャフ島のアローン スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のバッタク族 セラウェン島 エアス島 エルネオ島のバック族 オルネオ島のバック族 メンタウェールズ州 のユーフライに住む部族 ニュー・サウス・ウェールズ州 のユーフライに住む部族 マリンド・ケケ島のタガログ族 オントック族 サモア トンガ エーデーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューズーランド ハワイ フッナ カス諸島  | アドレンガ<br>パナエ・ムリン<br>ペルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パジョウ<br>パラバ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>G部族<br>ドバップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ブノ<br>ヴン・ウノング<br>ファレガ (タウファナトゥガ、ファンがトゥアンガ)<br>ファンガソァ<br>ママウ<br>ワトト<br>ハコーフ<br>ファガトゥア (ファト)<br>タウファガトゥア<br>タウファガトゥア   | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。 一別はたけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。 関連なけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。 子ども達が好んで行なう。 部族祖先に牛を供着する祭りで行なわれ、トムの意味をもつ。 フギ族でスヤガボウング(マティケング)、マカッサル族でシタパサング  男達によって精霊の前で行なわれる。 若者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども達が行なう。 日方が攻撃、片方が防御と食割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投ければ防ちとなる。成人式(割礼)に行なう。 割礼のときに氏族が対抗して行なう。 「体に油を塗る」、夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 勝奏の前に一子の組み方や用いる技を決める。神明裁判でもあった。 ・センイモの収音・投票を入で行るプと相撲をあった。 組み合った姿勢からはじめる。 材と村の影争の際に問題処理として行なわれた。 「理多に油を塗る」を投げがどても強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう服技の一つ。 ヤムイモの収音・投票を入れまれた着祭・ダブ・彦科(備式など、際)、こまた神野農和としても行る力、相撲からか、基本的には男のフを本餐と「ちなり」、かつも男と男が対戦するが、1人の男に2人の女がかかる相撲もある。 マカヒキ(新年祭)の定番種目。戦闘訓練としても。組み相撲と組み手争いをする立ち合い相撲が行なわれた。 相手の胸を3度叩くことが相撲挑戦の合図。  死者をは事事を必ず、これが相撲挑戦の合図。  |
| オーストラリア<br>フィリピン<br>ボリネシア | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シウー諸島 シウー諸島 シウー諸島 シウー諸島 シウースマトラ島のアチェー族 スマトラ島のバタク族 セラウェン島 ニコバル島 ボルネオ皇のバツク族 メンタウェ島 アボリジニー 北ルネオ皇のバツク族 カニー・サウス・ウェールズ州 のユーフライに住む部族 ニュー・サウス・ウェールズ州 のユーフライに住む部族 ビクトリア州のムーレイに住 ルソン島のイフガオ族 マリンドケケ島のタガログ族 サモア トンガ ニューギニアのマオリ族 ニュージーランド ハワイ エリス 諸島 トウィー島 フツナー島 コツナー島 コツオー島 コツオー島 コツオー島 コツオー島 コツオー島 コツオー島 コウマー島 コウマー島  | アドレンガ<br>パナエ・ムリン<br>ペルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パジョウ<br>パラバ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>18部族<br>ドパップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ブノ<br>ウン・ウノング<br>ファレガセ (タウファナトゥガ、ファンがトゥアンガ)<br>ファンガツァ<br>ママウ<br>ワトト<br>ハコーフ<br>ファガトゥア (ファト)<br>ダウファガトゥア<br>クトト  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達だけが行なう。  別体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。 男達だけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四部句の行事。 子とも進が好んで行なう。  部族祖先に牛を供着する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フギ族でスヤガギワング(マティケング)、マカッサル族でシタバサング  男達によって精質の前で行なわれる。 老者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども進が行なう。  大方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割礼)に行なう。 制礼のときに氏族が対抗して行なう。 (体に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。  勝負の前に予め組み方や用いる技を決める。神明裁判でもあった。 ケンケン相撲、寝て行なう足相撲もあった。 ケンケン相撲、寝て行なう足相撲もあった。 「ないたの眼情が発素く大変は、発表のよう中観機式などに際してまた神明蔵判としても行なう。女内は内がたり強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう競技の一つ。 セムイを収穫・投祭、家人教授がどてり強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう競技の一つ。 セムイを収穫・投祭、家人教授、死者祭・タブ・を終儀式などに際してまた神明蔵判としても行なう。女内は身上男が対戦するが、人人の男に2人の女がかかる相撲もある。 文力ときときかわる。 マカヒキ(第年祭)の定番種目。戦闘訓練としても。組み相撲と組み手争いをする立ち合い相撲が行なわれた。 相手の胸を3度叩くことが相撲挑戦の合図。   |
| オーストラリアフィリピン              | アンダマン島 アンダン。 ウリアッサ島 サブ島 シャフ島のアローン スマトラ島のアテェー族 スマトラ島のアテェー族 スマトラ島のパウなケ族 セラウェシ島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ボルネオ島のパウ族・ケンヤ族 メンタウェー 北東海岸部に住む部族 エュー・アイルのムーレイに住む部族 ビクトリア州のムーレイに住い ルソン島のイフガオ族 マリンドゥケ島のタガロブ族 ボントック族 サモア トンガ ニューギニアのマオリ族 ニュージーランド ハワイ エリス諸島 トウアモトゥ諸島 フツナ島 マルケナス諸島 フツナ島 マルケース諸島  | アドレンガ<br>パチェ・ムリン<br>ペルラェ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パショウ<br>パラウ<br>パラウ<br>パラウ<br>パラウ<br>パラウ<br>パナン(アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>6部族<br>ドパップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ブノ<br>ウン・ウィング<br>ファンガセ (タウファナトゥガ、ファンがトゥアンガ)<br>ファンガソフ<br>ママウ<br>ワトト<br>ハコーフ<br>ファガトゥア (ファト)<br>タウファガトゥア<br>ワトト                       | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。 一別はたけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。 関連なけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。 子ども達が好んで行なう。 部族祖先に牛を供着する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フキ族でスヤガボウング(マティケング)、マカッサル族でシタパサング  男達によって精霊の前で行なわれる。 若者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども達が行なう。 日方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば防ちとなる。成人式(割れ)して行なう。 制礼のときに氏族が対抗して行なう。 制礼のときに氏族が対抗して行なう。 「静風の前に子が組み方や用いる技を決める。神明裁判でもあった。 独か合った姿勢からはじめる。 材と村の総争の際に問題処理として行なわれた。 「理多に油を塗る」を投げがどても強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう規模もあるか、本名祭に行なう。かつらは男と男が対戦するが、1人の男に2人の女がかかる相撲もある。 文わた年の順手視察 客人敬迎式、死者祭、ブラーを解く儀式なに隠してまた神明鏡却として行なった相撲もある。 文わた年の順手視察 客人敬迎式、死者祭、ブラーを解く儀式なに隠してまた神明鏡却として行なった相撲もある。 文わた子、新年祭)の定番種目。戦闘訓練としても、組み相撲と組み手争いをする立ち合い相撲が行なわれた。 相手の胸を3度叩くことが相撲挑戦の合図。  死者を埋葬した後で、死者を開えるために行なう。  |
| オーストラリア<br>フィリピン<br>ボリネシア | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シウー諸島 シウー諸島 シウー諸島 シウー諸島 シウースマトラ島のアチェー族 スマトラ島のバタク族 セラウェン島 ニコバル島 ボルネオ皇のバツク族 メンタウェ島 アボリジニー 北ルネオ皇のバツク族 カニー・サウス・ウェールズ州 のユーフライに住む部族 ニュー・サウス・ウェールズ州 のユーフライに住む部族 ビクトリア州のムーレイに住 ルソン島のイフガオ族 マリンドケケ島のタガログ族 サモア トンガ ニューギニアのマオリ族 ニュージーランド ハワイ エリス 諸島 トウィー島 フツナー島 コツナー島 コツオー島 コツオー島 コツオー島 コツオー島 コツオー島 コツオー島 コウマー島 コウマー島  | アドレンガ<br>パナエ・ムリン<br>ペルラエ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パジョウ<br>パラバ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>18部族<br>ドパップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ブノ<br>ウン・ウノング<br>ファレガセ (タウファナトゥガ、ファンがトゥアンガ)<br>ファンガツァ<br>ママウ<br>ワトト<br>ハコーフ<br>ファガトゥア (ファト)<br>ダウファガトゥア<br>クトト  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。 一別はたけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。 関連なけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。 子ども達が好んで行なう。 部族祖先に牛を供着する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フキ族でスヤガボウング(マティケング)、マカッサル族でシタパサング  男達によって精霊の前で行なわれる。 若者が新年祭に相撲をとる。腰帯だけをまい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども達が行なう。 日方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば防ちとなる。成人式(割れ)して行なう。 制礼のときに氏族が対抗して行なう。 制礼のときに氏族が対抗して行なう。 「静風の前に子が組み方や用いる技を決める。神明裁判でもあった。 独か合った姿勢からはじめる。 材と村の総争の際に問題処理として行なわれた。 「理多に油を塗る」を投げがどても強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう規模もあるか、本名祭に行なう。かつらは男と男が対戦するが、1人の男に2人の女がかかる相撲もある。 文わた年の順手視察 客人敬迎式、死者祭、ブラーを解く儀式なに隠してまた神明鏡却として行なった相撲もある。 文わた年の順手視察 客人敬迎式、死者祭、ブラーを解く儀式なに隠してまた神明鏡却として行なった相撲もある。 文わた子、新年祭)の定番種目。戦闘訓練としても、組み相撲と組み手争いをする立ち合い相撲が行なわれた。 相手の胸を3度叩くことが相撲挑戦の合図。  死者を埋葬した後で、死者を開えるために行なう。  |
| オーストラリア<br>フィリピン<br>ボリネシア | アンダマン島 アンダン。 ウリアッサ島 サブ島 シャフ島のアローン スマトラ島のアテェー族 スマトラ島のアテェー族 スマトラ島のパウなケ族 セラウェシ島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ボルネオ島のパウ族・ケンヤ族 メンタウェー 北東海岸部に住む部族 エュー・アイルのムーレイに住む部族 ビクトリア州のムーレイに住い ルソン島のイフガオ族 マリンドゥケ島のタガロブ族 ボントック族 サモア トンガ ニューギニアのマオリ族 ニュージーランド ハワイ エリス諸島 トウアモトゥ諸島 フツナ島 マルケナス諸島 フツナ島 マルケース諸島  | アドレンガ<br>パチェ・ムリン<br>ペルラェ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パショウ<br>パラウ<br>パラウ<br>パラウ<br>パラウ<br>パラウ<br>パナン(アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>6部族<br>ドパップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ブノ<br>ウン・ウィング<br>ファンガセ (タウファナトゥガ、ファンがトゥアンガ)<br>ファンガソフ<br>ママウ<br>ワトト<br>ハコーフ<br>ファガトゥア (ファト)<br>タウファガトゥア<br>ワトト                       | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。 子ども達だけが行なう。 脚体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。 男達だけの観技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。 子ども達が好んで行なう。 部族祖先に牛を供着する祭りで行なわれ、トムの意味をもつ。 フギ族でスヤガボウング(マティケング)、マカッサル族でシタパサング 男達によって精霊の前で行なわれる。 若者が新年祭に相接とち。腰帯だけをまい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども達が行なう。 片方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば防ちとなる。成人だ。割礼しのたさして氏体が対抗して行なう。 制札のときに氏体が対抗して行なう。 神に油を塗る。夏に親成関係の氏族が集まった時に行なう。 勝負の前に予め組み方や用いる技を決める。神明裁判でもあった。 セムギの限手視察、客人ないたくでう遅いため、頻繁に事故が起きたという。舞式の時に行なう競技の一つ。 ヤムギの限手視察、客人放送は、死者祭タブーを持備式など、際してより存すがかめる相撲もある。 それど村の服手視察、客人放送は、死者祭タブーを持備式など、際してより存すがかかる相撲もある。 不者祭に行なう。ふつうは男と男が対戦するが、1人の男に2人の女かかる相撲もある。 マカヒキ(新年祭)の定番種目。戦闘訓練としても、組み相撲と組み手争いをする立ち合い相撲が行なわれた。 相手の胸を3度叩くことが相撲挑戦の合図。  花巻を埋葬した後で、死者を讃えるために行なう。 機を見て突然飛びかがりはしまる。  右手で相手の繋の毛を担んで引き寄せ、足をかけるなどして押し倒す。王の命令で大規模な対抗戦もあった。   |
| オーストラリア<br>フィリピン<br>ボリネシア | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シャブ島のアローン スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のパタク族 セラウェン島。 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアスリカーの ボルネス島のバハウ族・ケンヤ族 メンタウェ島 ボルネス島のバハウ族・ケンヤ族 メンタウェ島 アボリジー 北東海岸部に住む部族 ニュー・サウス・ウェールズ州 のユーフライに住む部族 セントリア州のムーレイに住 ルソン島のタガロゲ族 ボントック族 サモア トント・ケーク族 コーデーアのマオリ族 ニュージーランド ハワイ エリス 諸島 トウアモト・ウ諸島 ニウィ島 フツナム 諸島 マルケーサス諸島 フリエ島 アオルバート諸島  | アドレンガ バチェ・ムリン ペルラエ ムダリア グルカン (ジャグウィアン) メウルホ  バジョウ バラバ ドナマン (アルンガ) ゴームブーブードゥー む部族 ドバップ (ブルトン) ハンキン ブア・カカセ (タウファナトゥガ、ファンがトゥアンガ) ファンガソァ ママウ ワトト ハコーフ ファガトゥア (ファト) タウファガトゥア アトト カウンラバタ アセバル  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達だけが行なう。  丹とも達だけが行なう。  剛体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  関節なりを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  四節句の行事。  子ども達が好んで行なう。  超験担先に牛を供着する祭りで行なわれ、トムの意味をもつ。 フキ族でスペヤポパング(マティケング)、マカッサル族でシタパサング  男達によって精霊の前で行なわれる。  若者が新年祭に相撲をとる。魔赤だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子とも進が行なう。  片方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝らとなる。成人式(割れ)に行なう。  様に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 様に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 様に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 様に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 様に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。 様と村の紛争の際に問題処理として行なわれた。 環果に油を塗る。投げがどても強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう競技の一つ。 ヤムイモの限身税系 多放映記、光を客をグラを構えなどに際してまた神明観地しても行を、女相撲もあるが、基本的には男のス死者祭に行なう。ふつつは男と男が対戦するが、1人の男に2人の女がかかる相撲もある。かわとも変に行なう。ふつつは男と男が対戦するが、1人の男に2人の女がかかる相撲もある。でわとまど自加もる。マカヒも第千等第の定番種目。戦闘訓練としても。組み相撲と組み手争いをする立ち合い相撲が行なわれた。相手の胸を3度叩くこか相撲挑戦の合図。  焼き見て突然飛びかかりはじまる。  |
| オーストラリア<br>フィリピン<br>ボリネシア | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シャフ島のアローン スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のアチェー族 スマトラ島のパタク族 セラウェン島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニカバルラの エアス島 ニカバルラの エアス島 ニカバルラの エアスト カーフライに住む部族 ニュー・サウス・ウェールズ州 のユーフライに住む部族 ビクトリア州のムーレイに住 レンケー エリンドッケー エリンドッケー エリンドッケー エリンドッケー エリンドッケー エリンドッケー エリンドッケー エリンドッケー エー・デーアのマオリ族 ニュー・デーア・ドンガ エリンド・フィー エリス諸島 トウア・モー アンナー コース諸島 ニウィー コース諸島 ロツマー エアルケー ス諸島 ロツマー エアルケー ス諸島 ロツマー オルバート諸島 ロツマー ナーアルー オーアの エー・アンド コー・アンド コー・アン | アドレンガ<br>パチェ・ムリン<br>ペルラェ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パジョウ<br>パジョウ<br>パジョウ<br>パラガ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>び部族<br>ドパップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ブノ<br>ウン・ウィング<br>ファレガセ (タウファナトゥガ、ファンがトゥアンガ)<br>ファンガシファ<br>マヤウ<br>アトハコーフ<br>ファガトゥア (ファト)<br>タウファガトゥア<br>ワトト<br>カウンラバタ<br>アセバル<br>エアカバルレ<br>アウラス | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達だけが行なう。  丹とも達だけが行なう。  別体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  別論でいき布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。  関論でいる。  四節句の行事。  子ども達が好んで行なう。  超数現代に生を供替する祭りで行なわれ、トムの意味をもつ。  フキ族でスペヤポマング(マティケング)、マカッサル族でシタパサング  男達によって情霊の前で行なわれる。  若者が新年祭に相談をとる。慶赤にがきまし、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子とも進が行なう。  片方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割れ)に行なう。  様に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。  様に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。  様に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。  様とればの服身の前に予め組み方や用いる技を決める。神明裁判でもあった。 ケンケン相撲、寝て行なう足相撲をあるかた。 相当な合った姿勢からはじめる。 村と村の紛争の際に問題処理として行なわれた。 環察に油を塗る。投げがどても強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう競技の一つ。 ヤムイモの限身投棄、多人放出、光を書をつき機(電よなに悪)とより明確制としてもできる規模もあるが、基本的には男のア死者祭に行なう。ふつうは男と男が対戦するが、1人の男に2人の女がかかる相撲もある。 オンカとも、領下等別の定番種。、戦闘訓練としても。組み相撲と組み手争いをする立ち合い相撲が行なわれた。 相手の胸を3度叩くことが相撲挑戦の合図。  死者を埋葬した後で、死者を讃えるために行なう。  機を見て突然飛びかかりはじまる。  右手で相手の撃の毛を掴んで引き寄せ、足をかけるなどして押し倒す。王の命令で大規模な対抗戦もあった。  子供が生まれた機会に相撲をとる。女相撲もある。村と村の対抗戦も行なわれた。               |
| オーストラリア<br>フィリピン<br>ボリネシア | アンダマン島 アンボン島、ウリアッサ島 サブ島 シャブ島のアローン スマトラ島のアラエー族 スマトラ島のバタク族 セラウエン島。 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ボルネス島のバハウ族・ケンヤ族 メンタウェ島 ボルネス島のバハウ族・ケンヤ族 メンタウェ ニー・サウス・ウェールズ州 のユーフティに住む部族 センクトリアトのムーレイに住む部族 マリンドゥケ島のタガロゲ族 ボントック族 サモア ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 エントゥケ島 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 ニューギーアのマオリ族 エントゥオーアのアオリス諸島 トウアモトゥ諸島 フリア国 スポートの エリス諸島  | アドレンガ パチェ・ムリン ペルラエ ムダリア グルカン (ジャグウィアン) メウルホ パジョウ バラバ ドナマン (アルンガ) ゴームブーブードゥー ひ部族 ドパップ (ブルトン) ハンキン ブノ ウン・ウノンヴ ファレガシウ ママウ ワトト ハコーフ ファガトゥア (ファト) タウファガトゥア ファナが・ファ アウラス アセバル エアカバレレ アウラス テタウタウ  | 強豪選手は国民的英雄として尊敬を集める。日本では一般的に「モンゴル相撲」と呼ばれる。  子ども達がしばしば砂浜で行なう。 子ども達だけが行なう。 脚体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に投げようとする。 関連なけの競技。互いに組み合ってからはじまる。 四節句の行事。 子ども達が好んで行なう。 部族祖先に牛を供着する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。 フギ族でスヤガボウング(マティケング)、マカッサル族でシタパサング 男達によって精霊の前で行なわれる。 若者が新年祭に相接とち。腰帯だけをまい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子ども達が行なう。 片方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勢となる。成人式(割れ)して行なう。 物に油を塗る。夏に親成関係の氏族が集まった時に行なう。 様に油を塗る。夏に親成関係の氏族が集まった時に行なう。 様と油を塗る。及び、対して行なう。 神明裁判でもあった。 村は大田の数争の際に問題処理として行なわれた。 環身に油を変る。投げがとても強いため、頻繁に事故が起きたという。舞式の時に行なう競技の一つ。 ヤムイモの限手が展落。客人散選は、若着祭 タブーを解く痛気など、際してまた特明裁判としても行なう。女相撲もある。 大とさどき加わる。 マカヒキ(新年祭)の定番種目。戦闘訓練としても、組み相撲と組み手争いをする立ち合い相撲が行なわれた。 相手の胸を3度叩くことが相撲挑戦の合図。  死者を埋葬した後で、死者を讃えるために行なう。  |
| オーストラリア<br>フィリピン<br>ボリネシア | アンダマン島 アンダン島、フリアッサ島 サブ島 シャフ島のアローン スマトラ島のアローン スマトラ島のアローン スマトラ島のアローン スマトラ島のバタケ族 セラウェ)島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ニアス島 ボルネオ島のバック族、ケンヤ族 メンタフトの島のアローン ボルネオ島のバック族、ケンヤ族 メンタフィに住む部族 ニューカースに住む部族 ビクトリア州のムーレイに住 ルソン島のイフガオ族 ゼクトリア州のムーレイに住 ルソン島のイフガオ族 マリンドゥケ島のタガログ族 ボントック族 サモア トンガ ニューギニアのマオリ族 ニュージーランド ハワイ エリス諸島 トウア・田ノス諸島 フツナ島 マルケリス諸島 フッナ島 フッナ島、フッナの大 アリアリス諸島 フッナ島 フッナのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、おいたのよりには、ないためには、ないたのよりには、ないためには、ないた | アドレンガ<br>パチェ・ムリン<br>ペルラェ<br>ムダリア<br>グルカン (ジャグウィアン)<br>メウルホ<br>パジョウ<br>パジョウ<br>パジョウ<br>パラガ<br>ドナマン (アルンガ)<br>ゴームブーブードゥー<br>び部族<br>ドパップ (ブルトン)<br>ハンキン<br>ブノ<br>ウン・ウィング<br>ファレガセ (タウファナトゥガ、ファンがトゥアンガ)<br>ファンガシファ<br>マヤウ<br>アトハコーフ<br>ファガトゥア (ファト)<br>タウファガトゥア<br>ワトト<br>カウンラバタ<br>アセバル<br>エアカバルレ<br>アウラス | 子ども達がしばしば砂浜で行なう。  胴体だけを布で覆って対戦する。相手をつかまえると力の限り振り回し、地に接げようとする。  男達だけの競技。互いに組み合ってからばじまる。  別途の行事。  子とも達が好んで行なう。  部族担保に牛を供着する祭りで行なわれ、ト占の意味をもつ。  ブキ族でスヤガポワング(マティケング)、マカッサル族でシタパサング  男達によって精霊の前で行なわれる。  若者が新年祭に相談をとる。腰帯だけをまとい、相手の腰帯の後ろをつかんで組み合い、相手を持ち上げて背中をつかせると子とも達が行なう。 ト方が攻撃、片方が防御と役割を分化させている。両手を上げたままの防御者を、攻撃者は腰に両手をまわし持ち投げれば勝ちとなる。成人式(割礼)に行なう。 制力のとはに氏族が対抗して行なう。 体に油を塗る。夏に親戚関係の氏族が集まった時に行なう。  柳久の前に子め組み方や用いる技を決める。神明裁判でもあった。 ケンケン相撲、寝で行なう足相撲もあった。 センケンの服養、寝げがどても強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう競技の一つ。 ヤムイモの収養予視祭、客人散送に、死者祭・タブ・を解く儀式などに際してまた神明観判として行なった場合に関める。 センバモの収養予視察、客人散送に、死者祭・タブ・を解く儀式などに際してまた神明観判として行なった場合にある。大力に対しても強いため、頻繁に事故が起きたという。葬式の時に行なう競技の一つ。 ヤムイモの収養予視祭、客人散送に、死者祭・タブ・を解く儀式などに際してまた神明観判としても行なった相撲をある。 マカヒキも新年祭)の定番種目。戦闘訓練としても。組み相撲と組み手争いをする立ち合い相撲が行なわれた。 相手の胸を3度叩くことが相撲挑戦の合図。  死者を埋葬した後で、死者を謂えるために行なう。 機を見て突然飛びかかりはしまる。  様を見て突然飛びかかりはしまる。  そ件が生まれた機会に相撲を起る。女相撲もある。村と村の対抗戦も行なわれた。  |

|   | 国·地域、民族 |                | 相撲の名称 | 期日·意義·特色  |
|---|---------|----------------|-------|---|
| オ | メラネシア   | フィジー           | オノ    | 酋長の死、少年の割礼の際に行なわれる。                                   |
| 보 |         |                | ヴァイサガ | 小高い丘の上で男と女が対戦し、男のねらいは相手を投げて抱き合ったままで丘の下まで転がり落ちることであった。 |
| " |         | 旧英領ニューギニアのモツモツ | フォイペア |   |
| ア |         | トレス海峡の西部諸島     |       |   |

| アメリカ   | 南西部に住むナバホ族                      |           |  |
|--------|---------------------------------|-----------|--|
| カナダ    | イヌイット                           | ウナタラトァト   | 狩りの成功を祝う儀式として、夜の楽しみとして行なう。   |
| アルゼンチン | 南米最南端のティエラ・デル<br>・フェゴ島に住むヤーガン族  | カラカ・ムラカ   | 相撲は男のスポーツであり、女子は禁止。相手の足元に小さい土球を置くことが挑戦の意思表示。勝者は男の威信の<br>証のみならず、若い娘が伴侶を選ぶ条件にもなった。 |
|        | パンパ草原などに住むパンパ族、<br>ランケル族、アラウカノ族 | ロンコテオ     |  |
|        | ンビジャー族                          | クワバ (クロバ) |  |
|        | オナ族、セルクナム族                      |           |  |
| ブラジル   | アウエッチ族                          | ウッカ・ウッカ   | 四つんばいの姿勢から始める。   |
|        | シングー川上流域のカマユラ族                  |           | 豆科植物の油を体に塗る。四つんばいの姿勢からはじまり、女も行なう。  |
|        | アマゾン川の支流アラグァイア川の中洲バナナル島に住むカラジャ族 |           | 相撲は宗教的儀礼と村訪問に欠かせないもの。  |
|        | ボロロ族、カインガン族、ジェ語族                |           |  |
| ベネズエラ  | オリノコ川河口デルタに住むワラウ族               |           | 大きな楯を持ち、互いに楯でもって押し合う。相手を押し倒すか、ある所まで押し込めば勝ちとなる。                                   |
|        | サバンナに住むカリニャ族                    |           | 客人歓迎会の幕開け行事。   |

| アイスランド  |             | リクスペンナ、アクスラトーク、<br>ブクスナトーク、ロイサトーク | レイクファング(「レイク=遊び」「ファング=格闘技」)のさまざまな形態。                                   |
|---------|-------------|-----------------------------------|--|
|         |             | グリマ                               |  |
| アイルランド  |             |                                   | ケルト系の相撲  |
| アルバニア   |             | ムンジェヴェンドス                         | 7.11 (1.11)  |
| イギリス    | スコットランド     | バックホールド                           | ケルト系の相撲☆   |
| 1122    | コーンウォール     | コーンウォール (デヴィン)                    | ケルト系の相撲  |
|         | ウェールズ       |                                   | ケルト系の相撲  |
|         | カンバーランド     | カンバーランド                           | ケルト系の相撲  |
|         | ウエストモーランド   | //1561-2551                       | ケルト系の相撲  |
| ウズベク    | 7-A C 721   | クラーチェ                             | 音楽伴奏付き。  |
| オーストリア  | ザルツブルク地方    | ランゲルン                             | 全勝者は1年間「ハグモアー(その土地の長)」という名誉を得る。  |
| 4-XI-37 | 1970777073  | ユッペリンゲン                           | 王が自は十周(ハンモン(ての土地の及)」ことの日本で行る。  |
| グルジア    |             | チダオバ                              |  |
| スイス     |             | シュヴィンゲン                           | 相手を回して投げ落とすのが特徴的「シュヴィンゲン=振りまわす」。ズボン着用、寝技あり。1895年より全国組織化され              |
| ^1^     |             | リュッツェン                            | 1位于を担じて4支の分とすのが4年以前リンエフインソン一気でありました。一般17支付のでは1093年より主国・配職は10では         |
|         |             | レイブリンゲン                           |  |
|         |             | ホゼンランフ                            |  |
| スウェーデン  | <del></del> | タ・リヴタグ、タ・クラクダ                     | 互いに襟を握り合い組み手を固定して行なう。  |
| ス・フェーテン |             | アクセルタグ、ボンデタグ                      | 相手の背中で両腕を組んではじめる。  |
|         |             |                                   | 有十の月中で回席を組んではしめる。  |
|         | ラップランド地方    | リッグカスト                            | ナエマルエの水上と ナエマルエのマル・トル (1904)   |
|         |             | ビクスカスト                            | 左手で相手の背中を、右手で相手のズボンを握りはじめる。  |
|         |             | クラグカスト                            | 異なる襟の握り方で行なう。  |
|         |             | ラップカスト                            | 身を捨てて相手を頭越しに投げ合う。  |
|         | 西ゴトランド地方    | タ・ボルグタグ                           | ベルトを握り合ってはじめる。   |
| スペイン    | レオン県        | ルチャ・レオン                           | 短パンにTシャツ。年齢別・体重別に競う。ベルトをしっかりとつかんでからはじめる。韓国のシルム、スイスのシュヴィンケなどとの類似性が見られる。 |
|         | カナリヤ諸島      | ルチャ・カナリア                          | 年齢別、体重別に競う。半袖シャツにズボンの膝下をまくりあげる。グアンチェ族の儀礼に起源をもつといわれる。                   |
| タジク     | A           | ゴーティ                              |  |
| デンマーク   | フェロー諸島      | アラスラトーク、ブライズラトーク、ブローナ             |  |
| ドイツ     | ブラウンシュワイヴ   | ロベルン、ラウフェン                        | 明確なルールはない。   |
| ノルウェー   |             | リッキェクネッパ、リクタク                     | 相手の上体をサバ折りにする。   |
|         |             | ブクセタク、ファムタク                       | 相手のズボンのウエスト部と大腿部を握って組み合う。  |
|         | 1           | アルメスラインキャ、スレンゲタク                  | 相手の腕を掴んで振り回したり、足を引っかけて倒す。  |
| フィンランド  |             | リヴタグ、ファムタグ                        | 投げ技を用いない力比べ。   |
| 20 4411 |             | リッグカスト                            | 相手の上衣を持って投げ合う。   |
|         |             | ボルテスカスト、ビクスカスト                    | 相手のズボンをつかんで投げ合う。   |
|         |             | クラグタグ、アルムタグ                       | 自由に組んで投げ合う。  |
| フランス    | ブルターニュ地方    | グレーン                              | ケルト系の相撲☆   |
| ブルガリア   |             |                                   | おもにイスラム教徒が居住する地域での祭日や結婚式に行なわれていた。                                      |
| ポルトガル   |             | グラルホファ                            |  |
| ユーゴスラビア | 1           | ペリヴァン                             | 寝技あり。  |
| ルーマニア   |             | トゥリンタ                             |  |
| ロシア     |             | サンボ                               | 旧ソ連時代に旧ソ連各地の格闘技と柔道、レスリングをミックスさせたもの。                                    |

☆3つの相撲団体が1985年に統合して国際ケルト相撲連盟 (International Federation of Celtic Wrestling) を結成した。

| エジプト            |                  | バート・マスリー |   |
|-----------------|------------------|----------|---|
| ガーナ             | アシャンティ族          |          | 柔道に似て手と足を自由に使って投げ倒す。  |
|                 | クレンシ族            |          |   |
| コートディヴォワール      | ダン族              | ゴン       | 大乾季のはじまる12月頃から2月にかけて、村落対抗試合が行なわれる。                                      |
| スーダン            | バヨト族             |          | 植付祭と収穫祭に若者と娘が対戦する。豊穣予祝の性交を象徴的に再現する儀礼とみられる。                              |
|                 | ヌバ族              |          | 日本の大相撲に似た立ち合いをもつ。体に白い灰を塗り、全身を真っ白にして戦う(これにより神聖視される)。<br>乾季の末に村対抗の大試合がある。 |
| セネガル            |                  | ブレ       | 国技とされ、首都のダカールで大々的に大会が開かれる。プロもあり、国民的英雄とされる。                              |
|                 | ウオロフ族、ディオラ族、ペペル族 |          | 植付祭と収穫祭に若者と娘が対戦する。豊穣予祝の性交を象徴的に再現する儀礼とみられる。                              |
| ナイジェリア          | イボ族              |          | 若者対娘の性的対抗はヤム芋栽培とかかわっている。  |
| 50 3000 1000000 | バチャマ族            |          | 乾期の開始時と末に相撲大会(年齢ごとのチーム対抗戦)を行なう。相撲により、男の社会的価値が増加するといわれる                  |
|                 | ハウサ族             |          | 女相撲もある。   |
| マダガスカル          | 南部のバラと呼ばれる人      | たち       | リンガ   |
| 東アフリカ           | ブラウ族、ワシャン族       |          |   |
| 西アフリカ           | フルプ族、デュアラ族       |          |   |
| 南アフリカ           | ファン族、マダガスカル島     | のホヴァ族    |   |
|                 | ヤウンデ族            |          | 女相撲もある。   |
| アフリカ南部のカラ       | ラハリ砂漠に住むサン(ブ     | ッシュマン)   |   |

相撲およびレスリングとは、素手組み討ち格闘技のことで、もっぱら投げることで相手を倒すスポーツであ る。相撲とレスリングは数多くある人類の格闘技の中でも最も古いものの代表格であり、地域と文化を問わ ず、地球上の多くの民族によって行なわれている。日本では相撲に土俵はつきものであるが、実際日本に 土俵が現れるのは江戸時代以降のことであり、それ以前は土俵はなかった。そして、世界で行なわれている 相撲も土俵を持たない。

世界中に広がる相撲やレスリングのルールは実に多様だ。たいていは立ち技で勝負を決するが、はじめる 姿勢、身体のどの部位をとって組み合うか、そして、どの部位を地につければ勝ちとなるのかといった点につ であり、だからこそ民族のアイデンティティ形成には抜群の威力を発揮すると言えるだろう。

いては統一がない。相撲をとる機会・目的についても、日常の娯楽や競技会のみならず、新年祭、収穫祭、 客人の歓迎、出産祝、成人式(割礼)、葬式、など多岐にわたり、善悪の判断のために神明裁判としての 相撲やレスリングも行なわれている。また、男だけに限らず、女同士の対戦もあり、男と女が相撲をとること も。こうした男女対抗の相撲やレスリングの意味は優劣を競うのではなく、性が象徴的結合を果たすことに よって豊穣を確かにするといった願いがある。

このように、相撲&レスリングは世界の民族がそれぞれの伝統的文化・生活のなかで培ってきたスポーツ